



集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊1年目の星野壮祐です。

今月の集落支援だよりでは、8月に西会津町に訪れたたくさんの大学生の活動についてお届けします。



地域おこし協力隊 集落支援担当

ほしの 星野 壮祐 隊員

全国から医学生が集結

8月7日～13日まで、全国から集まった8人の医学生が西会津町に滞在しました。「地域医療合宿」と題して学生たちが自主的にメンバーを集め、宮城県や岩手県のほか、鹿児島県など遠方からも参加者がありました。

学生の皆さんは、町役場健康増進課の皆さんの協力を受けながら、西会津町授産場やケーブルテレビ、弥平四郎集落のサロンなどを見学しました。学校での学びとは異なる体験型の学習を通して、「いい刺激になった」と活き活きした様子が見られました。

ほかにも、滞在期間中には夕方からゲストスピーカーの講演を受けました。講師は日替わりで、西会津国際芸術村の矢部佳宏さんや西会津町最高デジタル責任者の藤井靖史さん、薄友喜町長などから講話を受け、普段とは異なる視点から「地域医療」について考えるきっかけとなったようでした。

今回訪れた医学生のほとんどが福島県に初来県だったこともあり、聞きなれない方言や初めて見る郷土料理を楽しんでいるようでした。中でも「くじら汁」と「えご」は県内でも西会津町近辺でしか伝承されていないため、私自身も初めて見る料理でした。医学生の皆さんにとって、今回の活動は皆さんの「はじめて」を体験できた貴重な機会になりました。



参加した医学生と集落支援拠点施設の前で記念撮影

芸大生による作品展示

8月17日～24日にかけて、東京藝術大学や武蔵野美術大学、多摩美術大学の学生計6人が西会津町を訪れました。このうち4人は、以前にも何度か町を訪れており、地域の皆さんとの久しぶりの再会を喜んでいました。

今回の主な活動は、奥川地区中町集落の権現堂というお堂をアート作品として展示することです。まずは、町内で採取したさまざまな草花を使い、「草木染め」という手法で布を染めあげました。次に拾った木の枝で炭を作り、草



草木染めの様子

木染めで着色した布に思い思いに絵を描く「ドロイング」という工程が行われました。今回の活動では、作業工程のほとんどを地域の皆さんと共同で行ったため、学生も



完成した権現堂の作品

地域の皆さんも作品の制作を通して、楽しく交流することができました。

作品の完成後は、この権現堂を一目見ようと多くの皆さんが足を運びました。制作に携わった学生の皆さんはもちろん、地域の皆さんも集落に新たな価値（作品）が生まれたことを喜んでいました。※作品はすでに撤去済みですので観覧できません。